

# 「SDGs推進 鯖江から」

## 国連永久大使・チャウドリー氏

### 市会議場で演説 協力訴え



SDGs達成へ、協力を呼び掛けるチャウドリー氏(手前)  
 11月5日、鯖江市会議場

国連の「持続可能な開発目標(SDGs)」推進のため来福した国連永久大使で女性問題の第一人者アンワル・K・チャウドリー氏(76)が5日、鯖江市会議場に登壇

し、議員らを前に演説した。チャウドリー氏は「地球規模の課題に対し、地域の視点を持って取り組むことが重要だ。女性活躍を鯖江から広げてもらいたい」と呼び掛け

た。【23面に関連記事】

鯖江市が7日に市内で開催する「さばえSDGs推進シンポジウム」に合わせて来福した。女性の地位向上を目指すチャウドリー氏は以前から

福井県の幸福度や女性の就業率の高さ、鯖江市の市役所JK課などの先進的な取り組みに着目。牧野百男市長は昨年、国連ニューヨーク本部で開かれたSDGs会議に招かれ、その議長をチャウドリー氏が務めた経緯がある。

議場には市議や市幹部ら約50人が集まり、チャウドリー氏は約20分間スピーチした。

ジェンダー平等の重要性を訴え「女性の活躍なくしてSDGsの達成はない。地方議員がその問題に対し真摯に取り組むことが重要だ」と強調し

た。鯖江市がSDGsの中で特に女性活躍に力を入れている点を評価し「鯖江の取り組みを全国に広げてもらいたい」と語った。

これに先立ち、チャウドリー氏は県庁を訪れ、杉本達治知事を表敬した。杉本知事は「福井県は女性の社会進出率が全国トップクラスだが、管理職率は低い。SDGs達成に向け、これからも努力していく」と述べた。

チャウドリー氏は「女性の平等に取り組めば、ほかの目標も達成できる」とエールを送った。

チャウドリー氏は6日、鯖江市中央中で生徒に向けて講演する。7日にシンポジウムに参加し、8日離福する。  
 (杉本拓磨、牧野将寛)